

【港北区】平成 28 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 9 月 7 日 (水) 9 時 55 分 ～ 10 時 50 分
場 所	港北区役所 4 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議 員：7 名】白井正子議員、酒井誠議員、 川口たまえ議員、望月康弘議員、大山しょうじ議員、 酒井亮介議員、豊田有希議員</p> <p>【港北区：28 名】横山日出夫区長、小野崎信之副区長、 田畑和夫福祉保健センター長、 吉川直友福祉保健センター担当部長、 中村信治土木事務所長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 27 年度個性ある区づくり推進費の決算について 2 平成 28 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について 3 その他
発 言 の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 27 年度個性ある区づくり推進費の決算について 2 平成 28 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について 3 その他 (資料説明・・・区長、副区長) <p>大山議員： 今回、資料が非常に詳しくなり、改善されたことを評価する。そこで、 変更に至った経緯を伺いたい。</p> <p>横山区長： 従来の資料では、情報量が少なく、きちんと情報提供できていなかった 可能性は否めない。今回、区民の代表である先生方に、きちんと情報提供 をしたいというスタンスにより、大幅に変更した。</p> <p>大山議員： 洪水ハザードマップの更新について、来年 3 月に着手とあるが、先月の 鶴見川の洪水浸水想定区域の発表を踏まえ、それまでの間に区民への対応 について考えていることはあるか。</p>

林総務課長：

9月の区連会の際に、京浜河川事務所から、浸水想定区域の考え方について説明してもらおう。

また、区連会の前には、浸水が想定されている新羽地区、城郷地区において、連合町内会長及び単位町内会長に区役所から情報提供している。

川口議員：

放置自転車対策事業について、監視員の取組状況と評価を聞きたい。

また、駐輪場の整備を含め、今後の放置自転車について、どのように取り組んでいくのか。

橡木地域振興課長：

区内主要6駅において、平成14年度と平成27年度の比較では3,500台以上の放置自転車数の減少となっており、一定の効果は上がっていると認められる。しかし、今年度に入ってから放置台数の減少に大きな変化が見られず、抜本的解決には至っていないものと考えている。

今後も、局と連携しながら、引き続き放置自転車対策に取り組むたい。

小野崎副区長：

放置自転車については、監視、撤去等だけでは抜本的な解決は難しい面がある。このため、道路局が駐輪場の整備も含め、自転車に対する総合計画の策定を検討しているので、道路局と連携しながら取り組んでいきたい。

川口議員：

駅の近くに喫煙場所を設置してほしいという要望が多いと感じているが、区役所では把握しているか。また日吉駅周辺が美化推進重点地区に指定される件について、現在の状況はどうなっているのか。

宮田資源化推進担当課長：

喫煙場所の設置の要望はあるが、賛成、反対双方の意見があるなど、対応が難しい。

美化推進重点地区の指定の件については、地域の方々の考えを聞きながら、丁寧に進めていきたい。

川口議員：

日吉駅の美化推進については、現在、地域の方が熱心に管理されているので、その活動を無駄にしないよう、行政として取り組んでいただきたい。
(意見)

酒井[亮]議員：

「元気っ子サポート事業」における訪問事業について、こども青少年局が行っている第1子訪問事業との住み分け、区づくり推進事業での課題を聞きたい。

石原こども家庭支援課長：

「元気っ子サポート事業」の訪問事業は、第2子以降も希望があれば訪問を行っている。課題としては、訪問を行っていることを周知し、訪問を必要としている人に確実に訪問ができるようにすることが挙げられる。「ココめ〜る」の配信や訪問時の個別の声掛けにより、今後もきめ細やかな周知に取り組んでいく。

酒井[亮]議員：

オープンデータの活用について、現況と今後の方向性を聞きたい。

柿沼区政推進課長：

横浜市が公開するオープンデータから、各個人が必要とするカテゴリーにされた情報を取り出せる仕組みをつくることを目指して、検討を重ねている。

昨年度は法人に委託して、意見を収集したが、今年度は更に幅を広げた情報収集を行い、最終的にはアプリの試作版を作成することを目指す。

白井議員：

「女性の健康向上計画」事業について、課題解決により事業が終了になったとのことで、区づくり推進費の効果的な活用と思えるが、どのように取り組んだのか伺いたい。

また、他に区づくり推進費で行った事業で、明らかな効果があったものがあれば聞きたい。

小野福祉保健課長：

3歳児健診の場を活用して乳がん検診の啓発や骨密度の測定を行った。またリーフレットを作成し、イベントで配布、広報よこはまの区版での周知を行った。

結果として、低かった乳がん検診受診率が市の平均を上回り、現在もその状況が続いているので、効果があったと思う。

小野崎副区長：

目に見えた効果をすぐに出すことは難しいが、防災や子育ての分野において、一定の効果を出すことができるように、引き続き手厚い施策を行っていきたい。

望月議員：

「港北魅力発見」事業について、篠原城址緑地の保全・活用の基本方針の策定はいつ頃になるのか。

また、港北区内の他の地域資源の活用は考えているのか。

柿沼区政推進課長：

現在、環境創造局及び都市整備局と調整している。遅くとも来年度までには、方針を示したい。

他の地域資源の活用については、今後、地域の方々に意見を頂きながら、

検討していきたい。

望月議員：

横浜市民あるいは全国の方が、この港北区に足を運んでいただけるような地域資源の活用に取り組んでいただきたい。(要望)

豊田議員：

地域包括ケアシステムに代表される、地域レベルでの福祉施策の取組において、地域福祉資源の活用について伺いたい。

小野福祉保健課長：

区内の各種施設、企業も含めて、福祉の視点での関わり方について、地域福祉保健計画を活用しながら推進している。

永峯高齢・障害支援課長：

地域包括ケアシステムの推進のひとつとして、生活支援体制整備を開始しており、今年度配置した地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが中心となって、地域にどのくらい高齢者の生活を手伝うボランティアや、活動の場があるか等を調査している。

その結果を踏まえて、今後の方向性を地域の方の意見を聞きながら、検討していきたい。

豊田議員：

福祉に関しては、区の役割が増えていくが、様々な部署が一丸となり、区のプロジェクとして動けるように、調整をお願いしたい。(要望)

横山区長：

現在の地域の課題の多くは、福祉の分野にある。地域福祉保健計画の推進が、地域に寄り添いながら福祉課題を解決していくことにつながるという考えから、組織全体で取り組んでいく。

酒井[誠]議員：

29年3月に緑化フェアが開催され、その後、ラグビーワールドカップ、オリンピックと大きなイベントが続き、区民にも影響が出てくるだろう。

オリンピックまでの4年間に、港北区としてやるべきことを整理していただき、しっかり取り組んでほしい。(要望)

横山区長：

このようなビッグイベントが3、4年以内に行われるということは、港北区にとってチャンスと捉えている。

この機に合わせて、課題を解決したり、区内から様々な発信をして、区民の方に満足して頂けるよう、先生方の意見を頂きながら、取り組んでいきたい。

佐藤議員：

ワールドカップに関しては、サッカーとラグビーの両方の決勝戦を行っ

	<p>た都市というのは、世界で2都市目である。</p> <p>このことは、区民の方も自慢できることだと思うので、どんどん発信していただきたい。(要望)</p> <p>今回の市会定例会において、自治会町内会等の防犯カメラ設置に対する補助制度の補正予算案が提出され、審議しているが、港北区の状況はどのようになっているのか。</p> <p>橡木地域振興課長：</p> <p>現在、9の自治会町内会から計16台の要望が上がっている。今後、市民局の予算が決定次第、市民局が優先順位をつけて、県へ申請することになる。</p> <p>佐藤議員：</p> <p>他都市では、設置後のメンテナンスを行う予算がなく、設置数年後には、防犯カメラが作動していない、という事例がある。</p> <p>「安全安心なまちづくり」として、局だけでなく、区が主体となった取り組みを引き続きお願いしたい。(要望)</p>
<p>備 考</p>	